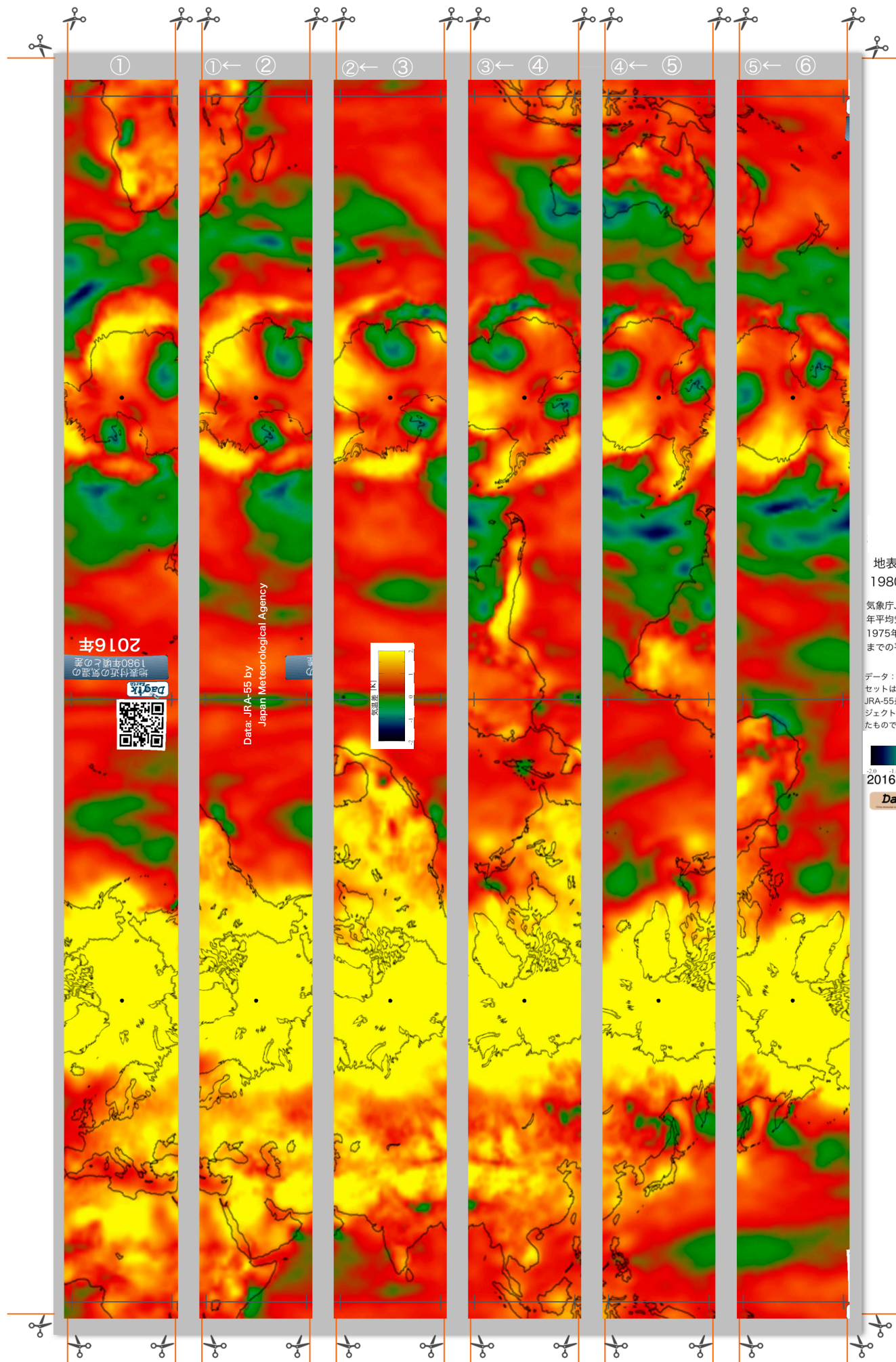
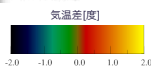




地表付近の気温の 1980年頃との違い

気象庁JRA-55による
年平均気温(高度2m)の
1975年から1985年
までの平均値との違い

データ：利用したデータ
セットは気象庁による
JRA-55長期再解析プロ
ジェクトにより提供され
たものである。



2016年

Dagik

<http://dagik.org/>
A/10/1

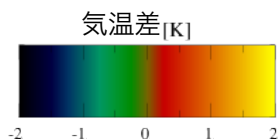
2016年の地表付近の気温の 1975年から1985年までの平均との違い

気象庁による長期再解析プロジェクト（JRA-55）による2016年の年平均気温(高度2m)の1975年から1985年までの平均値との違いを示しています。

データ：利用したデータセットは気象庁によるJRA-55長期再解析プロジェクトにより提供されたものです。

Data: The dataset used for this study is provided from the Japanese 55-year Reanalysis (JRA-55) project carried out by the Japan Meteorological Agency (JMA).

コンテンツ説明：<http://dagik.org/A/10/1>



手作り地球儀のつくり方：帯型シート（直径 7.5cm）

準備するもの

- ・直径 7.5cm の球（ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など）
 - ・印刷する紙（再剥離タイプのノーカットラベルシートがお勧め）
 - ・カラープリンター（インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます）
 - ・カッターと定規（あるいはハサミでも）
 - ・スプーンなど硬いもの（貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います）
- 必要に応じて：
- ・のり（ラベルシートではなく普通紙に印刷する場合は必要）
 - ・磁石や重り（ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入れられます。発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます。）

（印刷する）

- (1) 拡大縮小をせずに **100% のサイズで印刷** します。（画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが **23.5cm** くらいに印刷されます。）

（切る）

- (2) **オレンジの線**（灰色と画像の境界ではなく）でまっすぐに切り取り、6本の帯にします。

（貼る）

- (3) **数字の順番**に貼ります。まずは①の帯を貼りましょう。
- (4) カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります。数字が書いてある所を下に重ねよう、南極等の・マーク（黒点）も目印にしながら貼ります。
- (5) 球を両手で軽く握り、紙①をなじませます。
- (6) 次の②の帯を①の右側に貼ります。向きに注意してください。少しずつ重なるようになっていきますので、赤道の短いたて線マーク→を重ねてください。
- (7) あとは同じように繰り返し線や画像ができるだけずれないように重ねて貼り合わせましょう。

（シワを伸ばす）

- (8) 貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中（丸い方）でこすって伸ばし、平らにしてください。全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、1枚の帯を貼るごとにこすっても良いです。

